

繪 過
錄 少 酷
· 女
慘



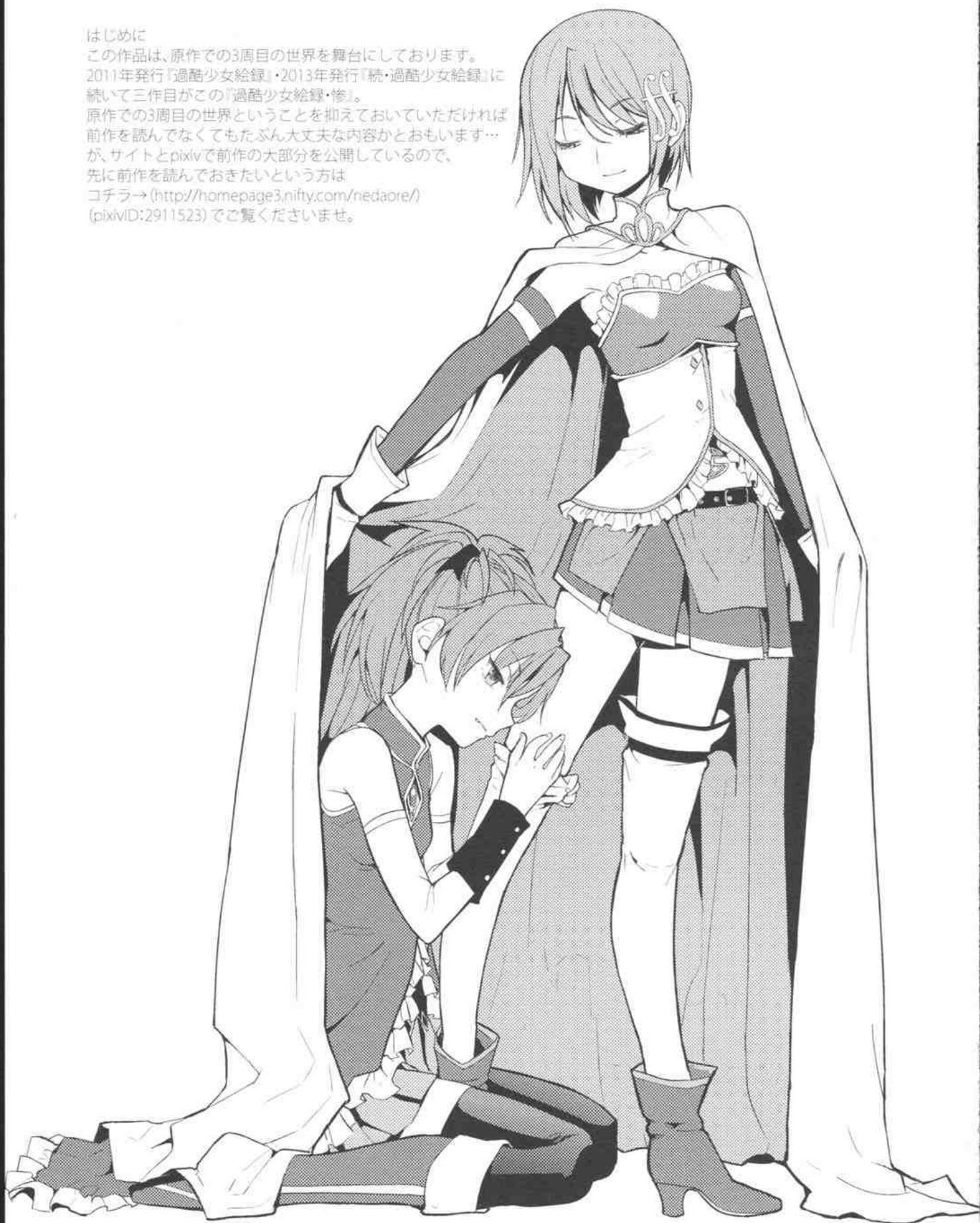
◆ R-18 成人向け ◆



PUELLA MAGI MADOKA MAGICA FANBOOK
PRESENTED BY NEDAORE

はじめに

この作品は、原作での3周目の世界を舞台にしております。
2011年発行『過酷少女絵録』・2013年発行『続・過酷少女絵録』に
続いて三作目がこの『過酷少女絵録・惨』。
原作での3周目の世界ということを抑えておいていただければ
前作を読んでなくてもたぶん大丈夫な内容かとおもいます…
が、サイトとpixivで前作の大部分を公開しているので、
先に前作を読んでおきたいという方は
コチラ→(<http://homepage3.nifty.com/nedaore/>)
(pixivID:2911523)でご覧くださいませ。





どうしたの!?
ねえ!
鹿目さん!?
しっかりして!!



こんなのおかしい…
間違ってる

なんで…
こんな!

どうして?



何?

魔女?

私は知ってしまった
ソウルジェムから
魔女が生まれること



巴さんは魔法少女の真実を受け止め切れない

やり直した時間でもまた鹿目さんは死んで



さよなら

また同じ時間をやり直す

まどか



キュウベえの本当の目的を知った私は

見せてあげるよ

ボク達インキュベーターの使命を魔法少女のこれまでを



巴さんは

どうしてあんなことになっ



今度は失敗しない

まどかに伝えなさい!

宇宙とかエントロピーとかわけのわからないことに利用しようとしている

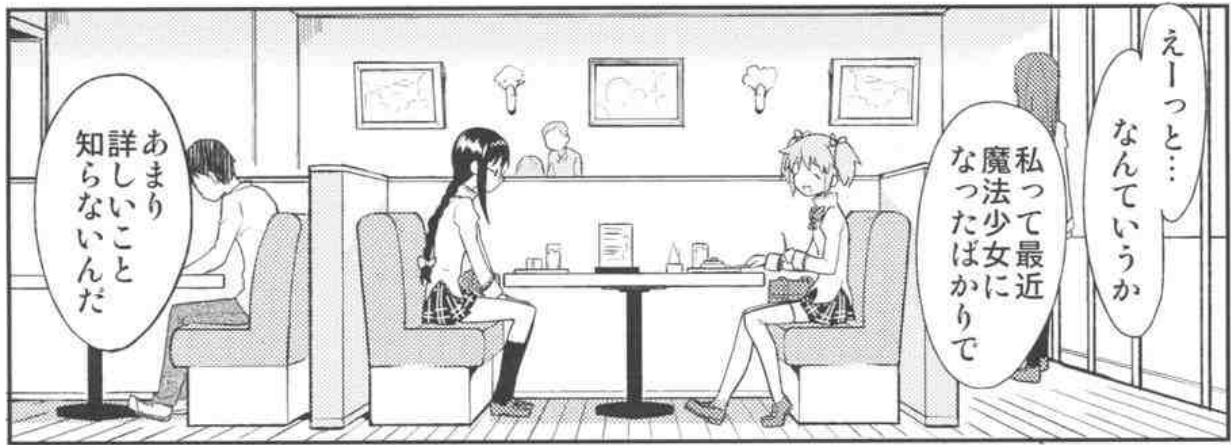


伝えなさい

みんなキュウベえに騙されてる!



……っ









この時間では
そうだけど



ボクは今日はじめて
ほむらと出会ったん
だけどなあ

話をした
こともない



ボクが
ほむらに？

あなた
暁美さんに
変な事
吹き込んだん
じゃない？



本当は
私たちに嘘をついて
契約させてるの!!

私達を魔女に
するつもりで!

だまされ
ないで!



キユウベえと
契約したん
じゃないの？

そうとも
いえるし
そうじゃない
ともいえる

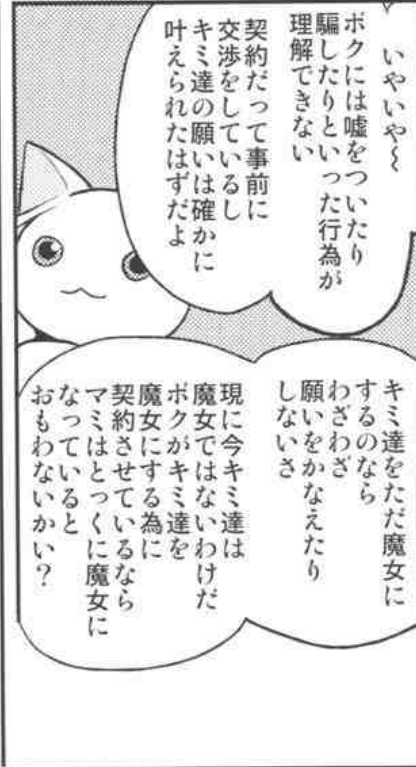
ボクの一固体が
すべての
魔法少女を
管理している
わけじゃないからね
魔法少女は
世界中に
いるんだから



キユウベえ
あなた本当に
暁美さんに
嘘ついてないのね？

ボクが今まで
嘘をついたことが
あったかい？

ママ



いやいや
ボクには嘘をついたり
騙したりといった行為が
理解できない
契約だって事前に
交渉しているし
キミ達の願いは確かに
叶えられたはずだよ

キミ達をただ魔女に
するのなら
わざわざ
願いをかなえたり
しないさ
現に今キミ達は
魔女ではないわけだ
ボクがキミ達を
魔女にする為に
契約させているなら
ママはとっくに魔女に
なっていると
おもわないかい？



鹿目さんには
私は嘘吐きで
変な子に
みえるだろうな

この世界じゃ
二人と出会って
まだ数日



実際に見てきた
私にだって
認めたくない
事実だったもの

いきなり
こんな話を
信じろって
言われても
無理だよ



無いわね



私としては
仲間が増えるのは
大歓迎だから

これから
私たちと一緒に
魔女退治は
どうかしら？

曉美さん
さっきの話は
気にしないで

きつといじわるな
キユウベえに
からかわれたのよ



不安そう

巴さんと
私が喧嘩しないか
心配してるんだか



これから一緒に
がんばろうね♡

がんばって
信用されなきゃ



はい

よろしく
お願いします

もう一度二人を
説得してみようかな

そろそろ…

三人の
チームワークも
良くなってきた

今日か
明日か

少しずつ
だけど

…と思ったんだけど

まっさか
転校生まで
魔法少女
だったとはね

まいった
まいった

あつはは
世間は狭いわ

ズッ

もしかして
今スイッチ
押ししました？

押したけど
悪かった？

転校生って
どんな武器
使ってるの？

すっ…

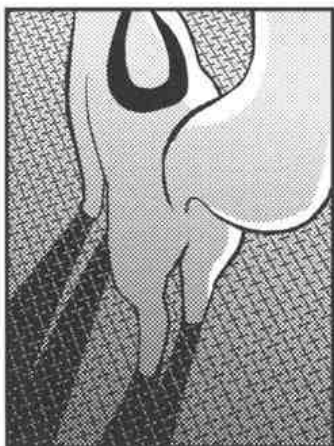
こういう
モノを…

なにこれ？
スモル
ライト？

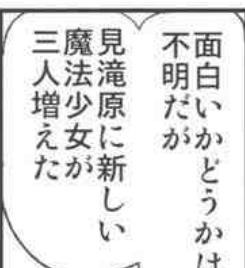
カチ

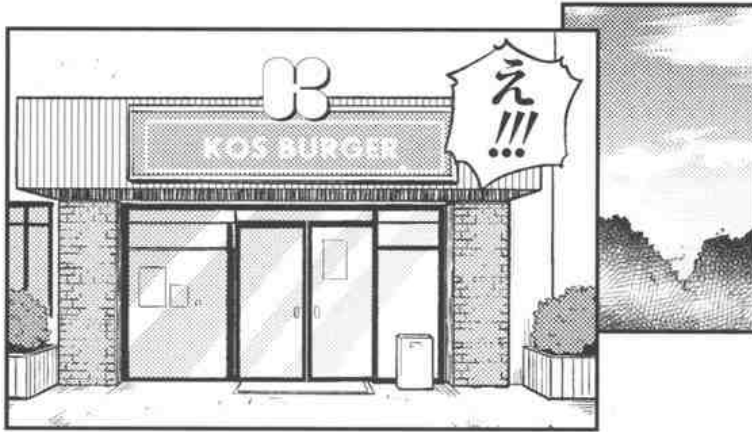
どうしよう…
一人増えた

今までの周回で
美樹さんが
契約したこと
一度も
なかったのに



10







本当にそれだけ？



へえ〜

仁美に選ばれる
恭介も
たいしたもん
じゃないの〜



あんな
朴念仁がねえ〜



……
!!



今のままで私は
さやかさんや
まどかさん：
自分自身にも
嘘をつき続ける
ことになります

明日放課後
上条君に
告白します

それまでに
さやかさんも
告白なさるかどう
か決めてください

勝手に
私のこと
きめつけないでよ



こんなところ
わざわざ呼び出して

私、
魔女退治しな
きゃ
いけないのに

こつちのことなんか
何も知らないで

なんか
ちよつと……

ちよつとだけ……むがつく

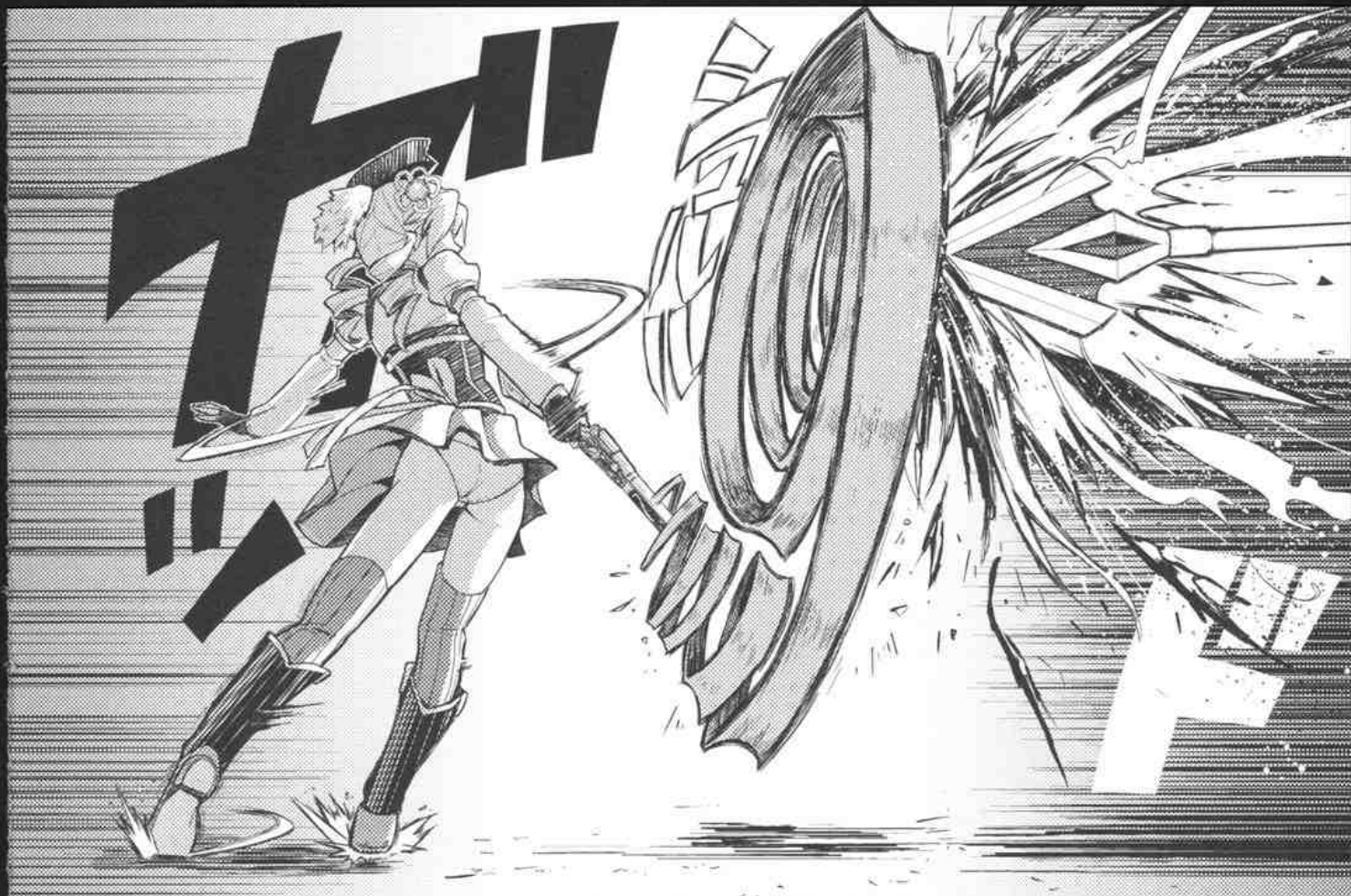


明日だなんて

急にそんなこと
言われても
って感じだよ

それにさあ
好きだなんて
一言もいつて
ないじゃん







相変わらず
使い魔退治なんて
ヌルい事を



彼女は



佐倉杏子

やっぱ
ガードされるか



そうでなきや
あんたの理想に
裏切られる

使い魔が魔女になっ
て育つまで待ちなっ
て



ここに
いる
あなたとは
違う

そんなことに
ならないように
効率よく魔力を
運用しているわよ



また知らない
魔法少女が
出てきた



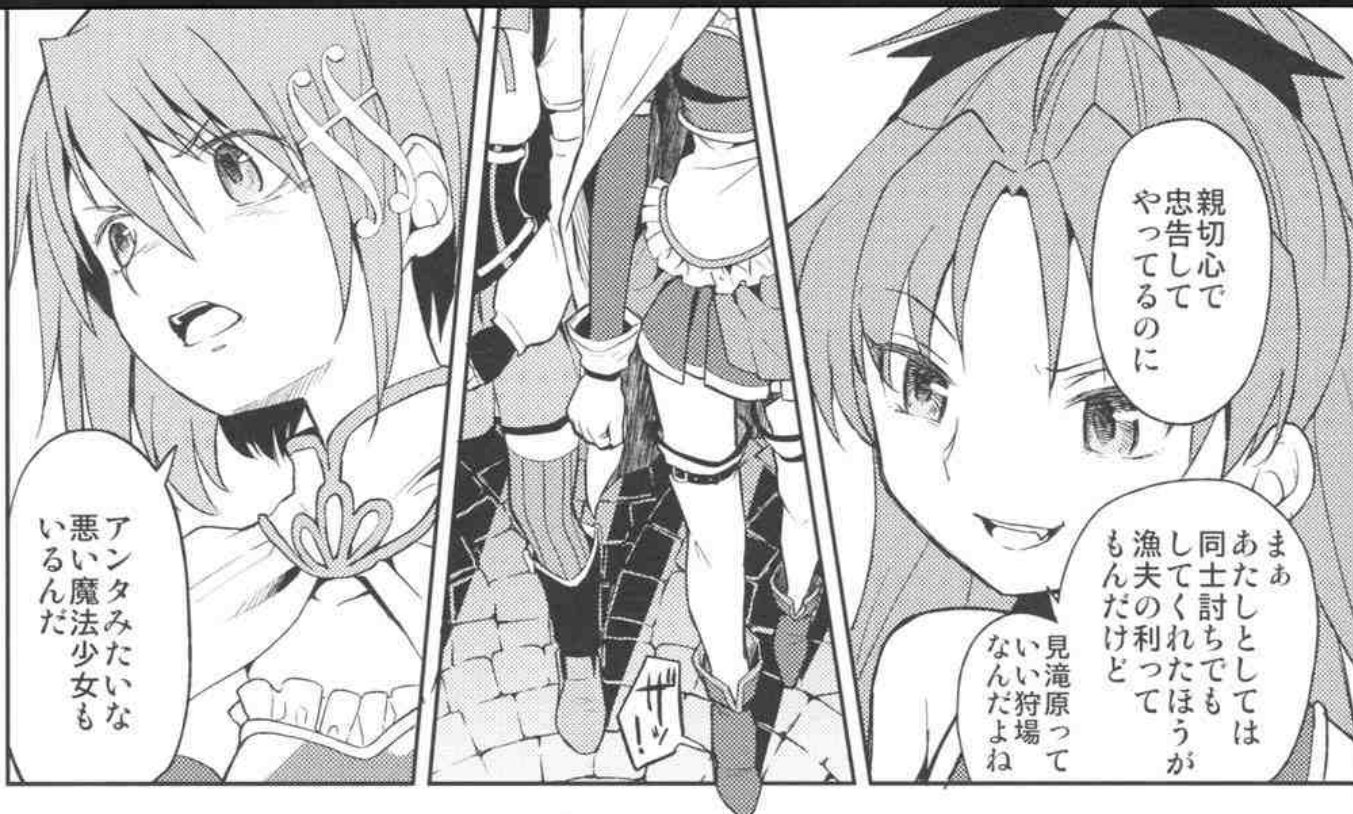
マミ：
あんた
わかってんの？

一箇所に
魔法少女が
4人もいちや

いずれ
グリーンフシードが
尽きる

そうすりや
どうなる

あんたたち4人で
グリーンフシードの
取り合いだ



アンタみたいない
悪い魔法少女も
いるんだ

親切心で
忠告して
やってるのに

まあ
あたしとしては
同士討ちでも
してくれたほうが
漁夫の利って
もんだけど

見滝原って
ない狩場
なんだよね



美樹さん
危険よ
下がって

それが
自然淘汰ってやつ

悪い？
自己の利益を
追求することが
悪だって？

自分が
正しいつもり
なんだ

弱い人を
守るのが
魔法少女でしょ!!

弱いやつは
魔女に食われても
しょうがないのさ

そうやって
弱いやつが
魔女に食われて
強いヤツだけが
生き残るんだったら

人間の将来の
ためっしょ？

使い魔ごときに
食われる弱い
やつは
どうせ人の社会じゃ
生きていけない
弱者だよ

他人に迷惑かけて
死ぬよりも

使い魔を成長させる
エサになつてくれれば
あたしたちにとっても
得だし無駄死にじゃない

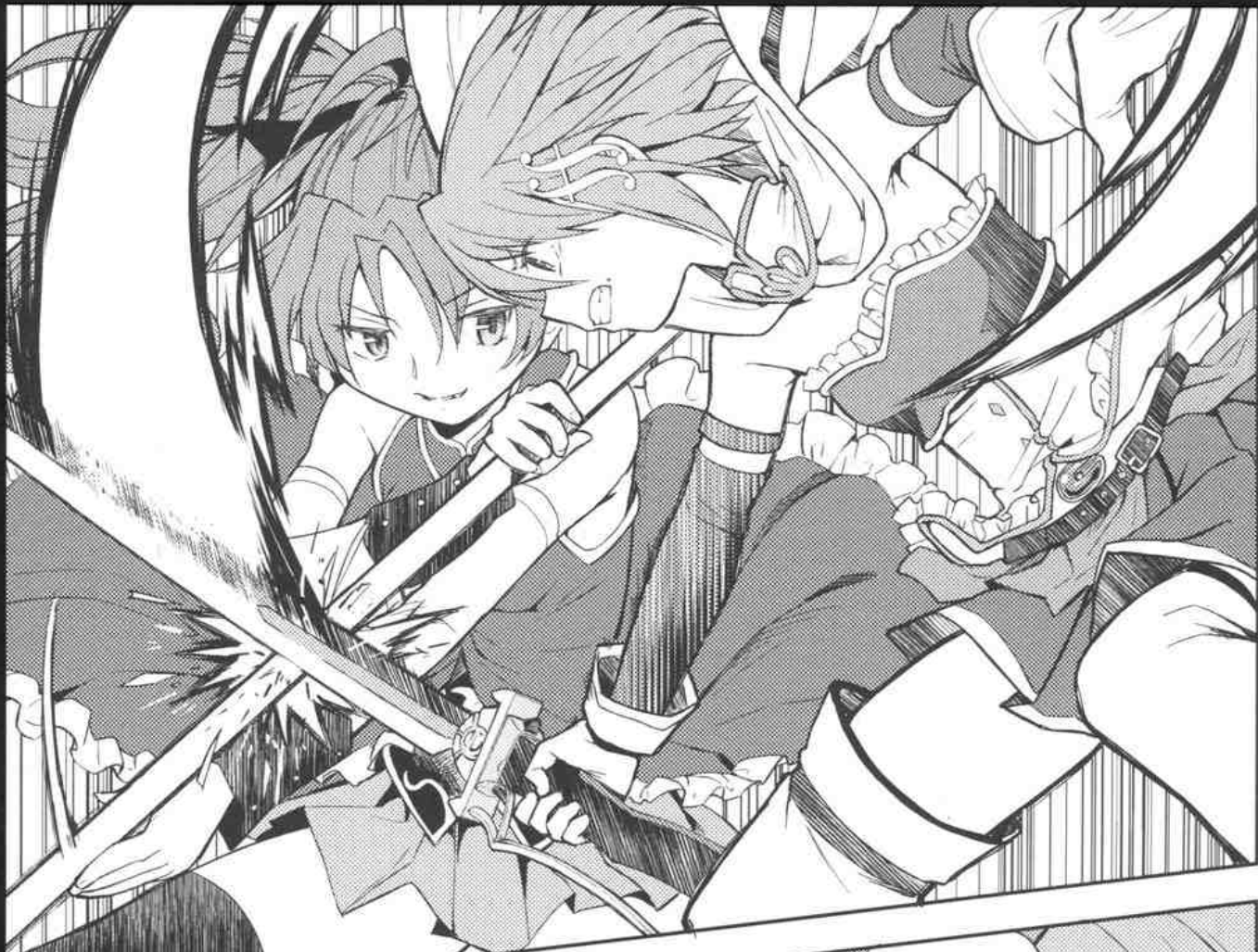


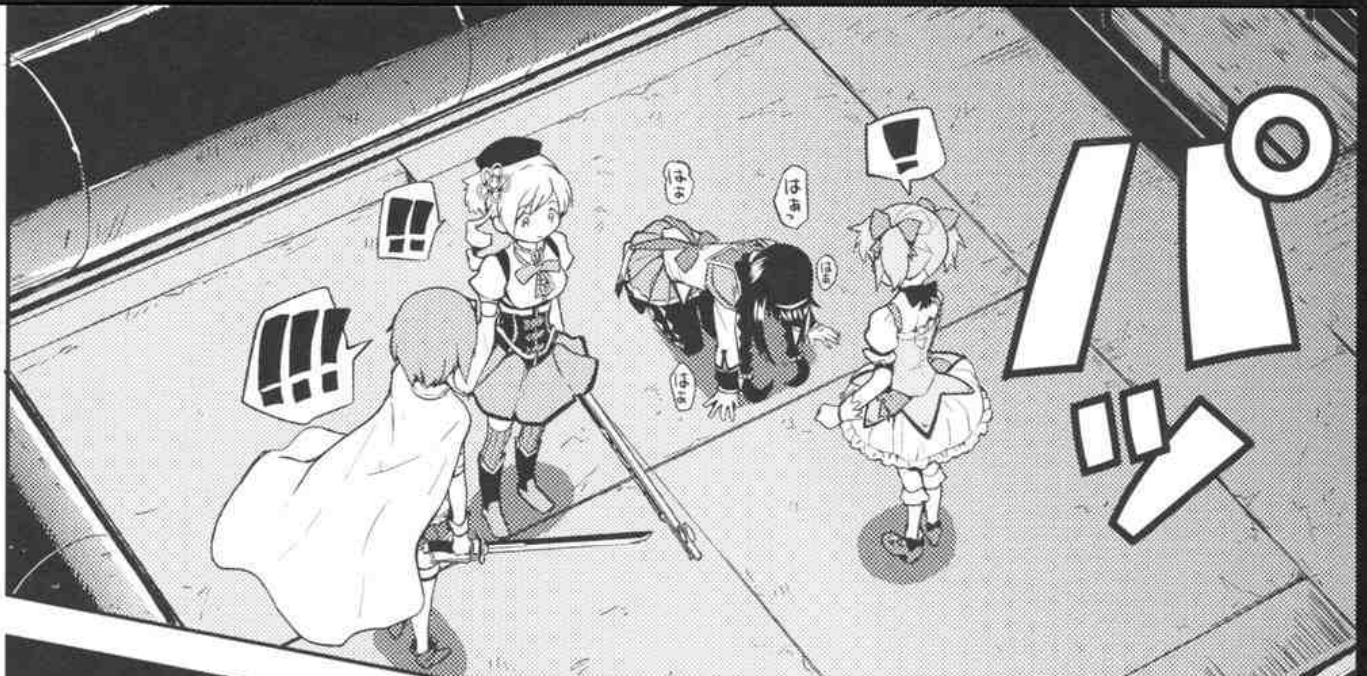
お前なんか
魔法少女じゃない!!



他人に迷惑かけて
死ぬよりも

使い魔を成長させる
エサになつてくれれば
あたしたちにとっても
得だし無駄死にじゃない







佐倉さんは強いわあ
あの場では戦わないのが
正解よ

美樹さん
落ち着いて

転校生さあ：
だからってあんな
邪悪な魔法少女
放っておけって言うの!?

魔法少女同士で戦っても
魔力を消耗するだけで
意味の無い戦いです



いーう

おねがいでだから



そっ
そうだよ
さやかちゃん

あの子の分まで
私たちが使い魔も
魔女もやっつけたら
いいんだよ

友達同士で
喧嘩しないで



むん!!

でも次に杏子を
見つけたら
懲らしめて
やるんだから



まどかの
言うとおり!
佐倉杏子の
分まで
私たちが
がんばろ!



うん
そうだね

ごめん
みんな
ちよつと熱く
なりすぎた



何よ？
キュウベエの
思う壺って

キュウベエは
私たちを騙して
消耗させて
私たちを魔女に
するつもりなの



魔法少女同士で
戦うなんて…
キュウベエの
思う壺です！



そうじゃなくって

ほむらちゃん
今は
その話
やめよう



私たちが
魔女に？

魔法少女が
魔女になって
誰が魔女退治
するってのさ！



あのさあ…キュウベエが
そんな嘘ついて一体
何の得があるわけ？



……



ね



それは…!!

私達に妙な事
吹き込んで
仲間割れでも
させたいの？

まさかあんた
本当はあの杏子とかいう
奴とグルなんじゃ
ないでしょうね？

ちっ！
違うわ！

さやかちゃん
それこそ
仲間割れだよ



どっちにしろ私
この子とチーム組むの
反対だわー

まどかやママさんは
飛び道具だから
平気だろうけど

いきなり目の前で
爆発とか
ちよつと勘弁

妙なところで
強気になって

美樹さんを
怒らせて

巴さんの
困った顔

何度
巻き込まれそう
になったことか

曉美さんには
爆弾以外の武器って
ないのかしら？



ちよつと
考えてみます

鹿目さん
の顔…

怖くて
みれない
きつと
あきれて
いるんだわ

どうしたら
信じてもらえる？

ワルブルギスの夜が
くるまでに
なんとかしないと…

まどか
帰ろ！

まって
さやかちゃん



それにあの
佐倉杏子ってやつは
転校生のこと知ってた
ほら
イレギュラーだって
呼んでたでしょ



上手に戦うには
爆弾は危ないって
いつてるの

転校生が時間動かしたら
いきなり目の前で
爆発してるんだよ？

みんなまだチームの
戦いに慣れてないから
これからもっと
上手に戦えるようになるよ

さやかちゃん
あんな言い方ダメだよ



ほむらちゃんが
そんな嘘をつくのも
信じられないよ

私だっていつか魔女になる
だなんて信じられないけど



何か企んで
いるのは
転校生の方
かもしれない

私たちが
魔女になるとか
おかしいな
こと



なんか
普通じゃない



転校生が
まどかを見る目……



気をつけな
まどか



寂しかったわ

でもね：昔は
私一人で戦ってたね

暁美さんには
私はどうみえる？
強くて
自立した先輩？



でも…

暁美さん
みんなを不安に
するようなこと
言わないで



だけど：
悪いけど
暁美さんの話

ごめんなさいね
こんな話



キュウベえが
私たちに
悪意を持っている
なんて思えない

キュウベえはね
魔法少女になってから
ずっとそばに居てくれた
私の大切な友達なの

キュウベえが
いてくれて
どれだけ私が
寂しさを
乗り越えてきたか…



友達…か
巴さんを説得するのは
無理かもしれない

私は信じないわ



でもあんな夢
みんなには言えない



ほむらちゃんと
出会う前
夢の中で会ったこと
があるんだ

さやかちゃんには
いえなかったけど
本当は



「転校生がまどかを見る目
なんか普通じゃない」

か…



生々しい夢

夢の中の
ほむらちゃんが
私のことを

『まどか』
…って
呼ぼうとして

でも
呼ばれない

だって
ほむらちゃんと
エッチなことしてる
夢…だったから

そこで
目が覚めちゃうの



またこんな事して
ダメだよ
わたし

ふう

はあ

はあ

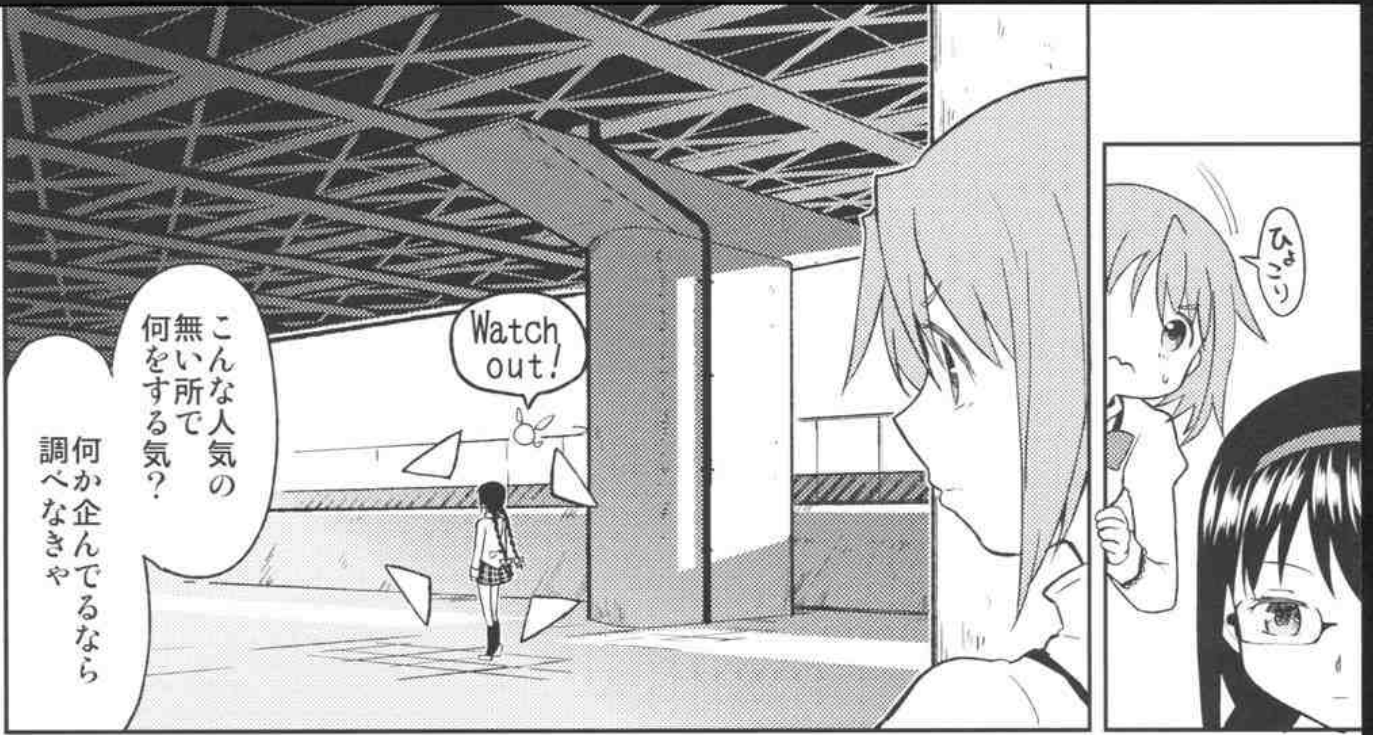


きんきん
きんきん



へんな気持ち





こんな人気の
無い所で
何を
する気?
何か企んでるなら
調べなきゃ

Watch
out!

ひょろり



一人でチョコチョコ
してるなんて
おあつらえ向きだね



ひゃいっ!?



よっ
イレギュラー



ほさつと
してないでさあ!!



佐倉杏子!!

さつさと
変身しなよ!





超ウゼえし
超バカっぽい

ねえ
びっくりした？
びっくりした
でしょ
その顔



美樹さん
どうして!?!

びん!



こいつの速さに
爆弾は
相性悪いって



邪魔が入ったが
弱いやつから
つぶしていくのが
戦いの定石
いいよ
相手してやる



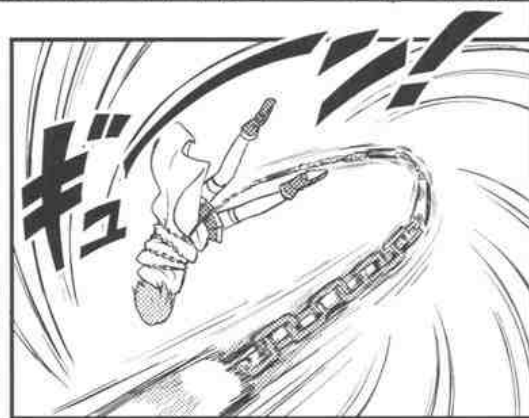
転校生はこいつと
戦わないんでしょ？

だったら
さっさと
逃げなよ



29











あーなんか
イレギュラーの
珍奇な行動で
白けちまったからな
休戦ってことで…
腹も減ったし

つーか
何フツーに
なじんでるわけ!?
私たちが敵同士
なんだからね!



どんな願いで
そんな武器になるのさ!

なにが正義の
味方だバカ!
魔法少女の癖にか
近代兵器使うとか
反則じゃん
マミー様よ



私たち
食うな

ママのお仲間だけ
あって扱いつれえな



こーいうところが
調子狂うんだよな



お菓子たくさん
ありますよ

これ食べ
ますか?



気ままに
生きてるだけさ

まあ
長い話だよ



どうして
落ちぶれたわけ?



あんたって
ママさんと
どういう関係?

やたら
突っ掛って
くるよね



淡々と語った
杏子の昔話は苛酷で

杏子が自分勝手に
生きなさいいけない
理由には十分すぎると
思っちゃった…

家族のための祈りが
呪いになるなんて
そんなの理不尽すぎる

昔ママと
コンビでね
方向性の違いで
解散ってやつ
一応ママの方が
先輩で……
あたしも
初心者だから
いろいろ教えて
もらってさ
そーいや
あの頃はあたしも
正義を信じて
戦ってたんだよなあ



はあ!?
惚れた男のために
契約した〜?

べつに惚れて
ないってば!!
友達なだけ!

美樹さん:
そうだったん
ですね

もつたいない
ことに
願いを
使いやがって



あんたは何で
契約したんだ?



魔法の力を利用して
人の気持ちを
変えてやろうなんて
おこがましい
考えだよ

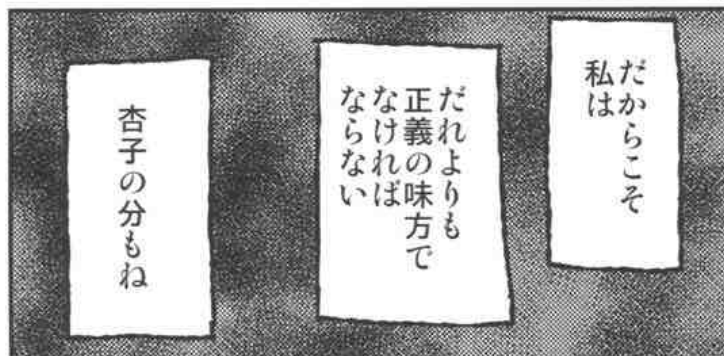
こんな話を
どんな顔で
話しているんだらう?
杏子は

それでさあ
希望と絶望は差し引き
ゼロなんだって:
仕組みがわかったってわけ
おかげで
今は賢く
生きれてるよ



希望と絶望は
差し引きゼロ
世界はそういう
バランスなんだたら

私の悩みなんて
杏子の過去に
比べたら
ちっぽけなのかもね:



だからこそ
私は

だれよりも
正義の味方で
なければならない

杏子の分もね



私はその人を守る為に
何もかもやり直す為に
キユウべえと契約して:
そして時間が巻き戻った

私はその人に
生かされたけど
納得できなかった

絶対に勝てない敵と戦った
魔法少女がいたの
死ぬってわかってても
その人は戦い続けた
最後まで
魔法少女になって
よかった! って言って
その人は死んだわ



さて次は
ほむらの番だよ
どうして
魔法少女に
なったの?



しかし魔法少女って時間まで超越できるのかよ…にわかに信じられないな

キュウベエのいったイレギュラーってそういうことか



その人は私の大切な友達だから今度は必ず助ける

そのために私はここにいます



?

目線が追いかけてすぎだわ

なっとなっとなんでわかるんですか!?



でもひとつあることがある



その大切な友達ってのがまどかってこと



ええ…

じゃあ前に言った魔法少女が魔女になるって話は前の時間で実際に起こった出来事?

まどかが死んじゃったって事?



ちよっとまってよ

…



実際に私はこの目で
ソウルジェムから
魔女が産まれるのを見たわ

魔法少女を魔女にした時
強大なエネルギーを
生むらしくて
私たちがいずれ魔女に
するつもりでいるの

キュウベえの本当の目的は
滅り続ける宇宙エネルギーの
集めることなの



おい
何の話だよ



だってさ
おかしいじゃん！
どうして
まどかは今も
魔法少女なのよ

私がほむらだったら
まどかを
魔法少女に
させたりしない！

だって魔女に
なるんでしょ？
そんなの
嫌に決まってる
じゃん



でもさ…それって
信じられないんだよね



グリフシードを
集めることは
そんなに簡単じゃねーだろ



魔法少女に
なつてよかつたって
私を守れたのが
自慢だつて言つてたから
それで…！！

それに
ソウルジェムを
浄化さえすれば
魔女にはならないわ

でも…
でも鹿目さんは



うん
わかってる

ほむらは嘘は
ついてないんだよ

きつとさ
魔女かなにかの
攻撃で：
幻術とか幻覚とか
そういうので

ありえないものを
観たんだよ



嘘じゃない!!

本当の事なの!!



ほむらが
嘘吐きだなんて
思ってたないから

ちよつと
うっかりしてる
とは
おもってるけど!!



大丈夫だって
そんな顔しないでよ



確かに精神攻撃を
してくる魔女も
いるにはいるが：



そっか

杏子も家族が：

だからわかるんだ



でも
まどかってヤツが
死んだのは
本当みたいだな



そういう
顔してる



杏子も
そう思うでしょ？

実際に見た
わけでもねーし：

なんにせよ
あたしには関係ない
主義を変える
つもりはない



おはよう
さやかちゃん
ほむらちゃん

おはよう
鹿目さん

おはよ！
まどか



あつ！
仁美ちゃん



えへっへ
まあね

よかった
二人とも
仲直りしたんだね

心配かけてごめんね
鹿目さん



おはよう！

おはよう
ございます
みなさん



さやかさん

二人だけで
お話しませんか？



昨日はどうして告白なさらなかったのですの？

どうしてって仁美に
関係ないっ—か
そもそも
恭介が好きだ
なんて
私言っていないし

じゃあ好きでもなんでも
ないんですの？

もうそんなの
どうでもいいでしょ！



それより告白したんでしょ
どうだった？

気になるんですの？

でも
どうでもいい
さやかさんには
関係ありませんわ

あのさ…

ギスギスするの
やめようよ



別にさ
私の事にしないで
勝手に告白すれば
よかったのに

選ぶのは
恭介なわけだし

ずるい
ですよ

わかっているんです
私の気持ちも
さやかさんにも
押し付けて選ばせて

自分の告白を
正当化しているって



子供の頃から
さやかさんのそばには
上条君がいて……
きつとお二人は
恋人同士になるんだと
思っていました

さやかさんとも
親友でいられて
私は安心して
上条君をあこがれて
いられたのに

それに
最近はまだかさんと……
暁美さんとまで
こそこそ内緒話をして
なんだか私は仲間はすれ

私がお稽古や塾で
放課後さやかさんと
一緒に遊べないから



私って本当は
わがままですの
恋も友情も
どちらも欲しい
でもどちらかひとつしか
選べない……
恋をとるなら
私かさやかさんどちらかが
傷つかなくてはいけなくて

ですから
さやかさんが
先に告白して
上条君と結ばれたら

私は満足して
失恋できるし
さやかさんとお
友達でいられる



でも現実には
酷いですわ
さやかさんは
告白もしないで

はは……私が振られるって
可能性は計算に無いんだ

残念ながら……
上条君は私の告白を
受け入れて
くださいましたわ





めちやくちや
だつっーの

さやかさんの為
なんです!!



正しいことを
しているのに!
邪魔しないで!!

仁美!!
しっかりしてよ!!
何でこんなバカな事!!



!?

なに
こいつ!!

魔女の使い魔?!

仁美に
とり憑いてるツ?!



ええい!!
嫌だけど!!

となると
こうするしか
ないよね!!



手は使えないし...

ガハガハ





仁美に憑いていたのは
魔女になりきれてない
使い魔だった

あのまま放っておけば
仁美を食べて魔女に
なっていたのかもしれない

あんな
ちっほけな
使い魔に

仁美が？

仁美って
大人っほくってさあ
悩みなんて全部自分で
解決できそうさ…



保健室

貧血で
倒れたんだよ
覚えてない？

いえ
ちっとも



ん…

さやかさん
私…



仁美をあんなふう
に
悩ませたのって…

私の所為？



仁美は大切な
親友だよ



仁美
おめでとう

私は
失恋しちゃった
けど



仁美は…
恭介には
もったいないな







さやか…

絶対に泣いたりしない!!

泣く…権利も
悔しがる権利も

ないんだよ……!!

だからねっ!!

泣く



泣く

私は…ね

告白しなかったんだ…



ああ
そうかよ!!

今日は見逃して
あげる!
次はないから!



どう見ても
泣いてるじゃねーか!!

泣いてない!!



全部ごまかし

ほむらの言うことは
ホント調子狂っちゃうよね

ソウルジェムが
また濁っている

本当に
それだけ?

仁美

本当は私
わかってるよ
自分で自分の恋に
敗れたんだって



私はただ恭介に
音楽を取り戻して
あげたかっただけ

恋のために
祈ったんじゃない

泣いたり
後悔したなんて
みっともない

悪い魔女からみんなを
守る使命だってあるんだよ
魔法少女の力は
そのためのもの

つまらない祈りだなんて
思わない

あはは♪
 実はみんなには
 内緒だったけど
 私失恋しちゃってて
 なんかそれで
 一人になりたいっつーか
 そっとしておいて
 欲しいっつーか
 もー言わせないで
 くださいよー



ああ……すいません
 ちよっと一人に
 なりたくくて
 どうして？

美樹さん！
 今日もまた一人で
 バトロールするなんて
 危険よ！
 みんなで一緒に……！

え？
 ほね
 ほむら
 まどかの事
 好き？
 いいま
 答えなくて



そういうことなら……
 事情も事情だし……
 でも無理しては
 だめよ



ごめん！！
 みんな！！
 しばらく私のわがまま
 聞いてください！



大丈夫大丈夫
 私って
 癒し系だからさ
 さやかちゃん
 ソウルジェムは
 大丈夫？



え？



がんばりなよ
 まどかは誰にても
 優しいから





佐倉さんって
思ってたよりずっと
話しやすい人でした

美樹さんのような
願いで契約した子とは
相容れないと
思ったのだけと

へえ
あの佐倉さんが…
ねえ



大丈夫だとおもいます
美樹さんと佐倉さん
結構仲良くなれたから



また佐倉さんが
襲ってこなければ
いいけど

いつの間に
仲良く
なつたの
かしら

あの
佐倉さんが



知らなかった



私は一人でも
大丈夫だから！
美樹さんを
お願いね

しよーがないわね

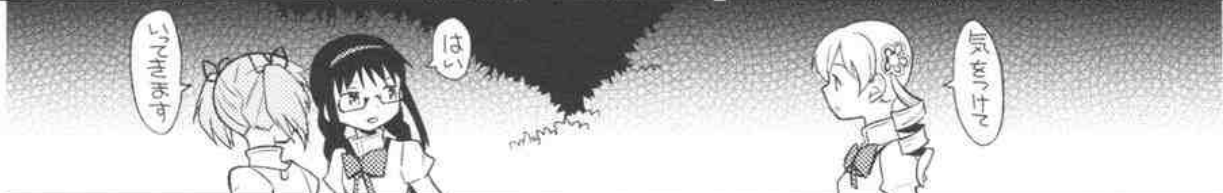


……



巴さん…私
少し気になる
ことがあるので
美樹さんを
追いかけてきます

私も！
さやかちゃん
心配だから…
いいですか…？
マミさん



ごめんね

はい

気づけて



そんなことは
ないさ



年長者の私が
一番しつかりしなきゃ
いけないのに

美樹さんの
変化にも
気がつかなくて

佐倉さんとも
決別したままで

先輩失格だな…



マミという理想の魔法少女がいたからこそまどかもさやかも魔法少女になる決心をしたんじゃないのかな

実際マミのような魔法少女は珍しい後輩の育成が出来るほど余裕のある魔法少女は滅多にいないからね

ボクはとても助かっているよ

もうキュウベえったら褒めたって何もでないわよ☆



ほむらちゃんの「少し気になること」って何？



美樹さん…ソウルジエムを見せてくれなかったでしょ
彼女の性格だとソウルジエムが綺麗なら堂々と見せてくるはず…

ほらほら
こんなに
輝いてる



でも彼女は見せなかっただからソウルジエムが濁ってるんじゃないか…って思ってる



ごめんね…ほむらちゃんソウルジエムが魔法を生むって話まだ信じきれなくて…

でもソウルジエムが濁らないように気をつけてるんだよ

いいんだよ鹿目さん信じられなくても私ね美樹さんと佐倉さんと話してわかったの

私の一番の願いはキュウベえの悪巧みを知って欲しいことじゃないんだもの

…守ることだから







今日ね仁美と恭介がデートしてた...私がいなきゃ二人とも恋人にはなつてなかつた

仁美も恭介もなんて助けちゃつたらうって...思っちゃつた

杏子の言うとおりでさ失恋したくらいで情けないよね

そんなこと考えてる自分に腹が立つて自暴自棄になって無茶な戦い方して

かつこ悪くて情けなくて...ああ私死ねばいいのかな？って思つて

でも死ぬこと自体誰かさんたちへのあてつけみたいで許せないんだ

悩むことに疲れて恭介の腕を治さなければよかつた...って最初の祈りも否定しだして堂々巡りなんだ

バカだな考えすぎなんだよ

くだらねえ
まずは生きるためにソウルジェムを浄化しなよ

あんた私たちが魔女になるって本当に信じてるの？

そうじゃない

さやかが犠牲になつてあいつらに奇跡を与えてやつた

さやかは一人で二人も幸せにしたじゃないかそれで十分！十分な数助けた

この世には誰も救えないヤツもいるのに...だ

後は好きなように生きれば良いこの力を使えば自由に生きられるんだ
なんならあたしが手ほどきしてやつてもいい

ソウルジェムを綺麗にして魔法もぼんぼんつかつてさ楽に生きなよ恋愛くらいで死ぬなんてバカバカしい



おっ！
おい！

そんなんで
「手ほどきしてやってもいい」
は無いでしょ
私のほうが教えて
あげようか



あんた
恋したことある？



無：
いや

あはは

享乐的な生き方
してるクセに



そういうところ
潔癖そうだよ

教会の子だし

……
何の話だよ



55



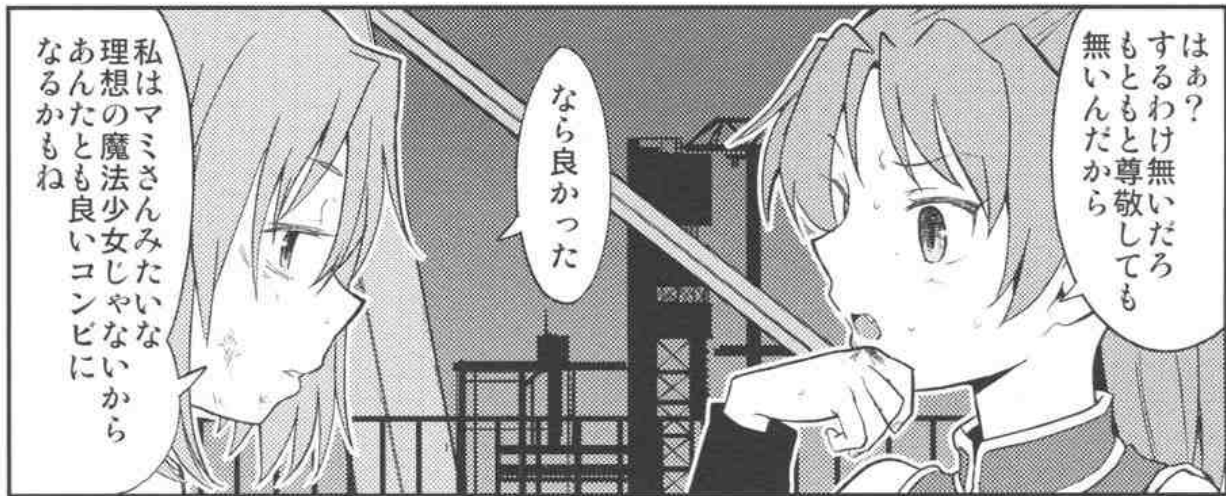


仁美もそうだった

血の味がする



恋は苦い味が
するとか



払えっての！

宿泊費は？

……

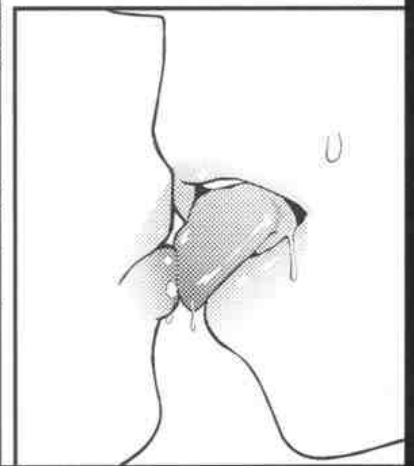
良いホテル
泊まってるんだ

へへ
まーね



杏子ってさ
顔ちっちゃいよね

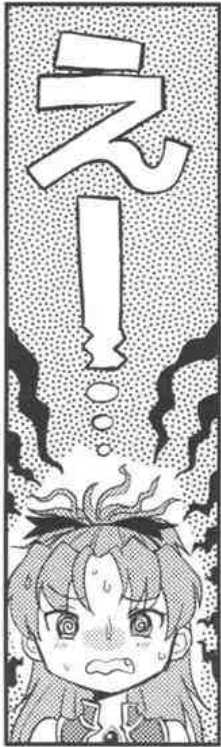
そうかあ
あんまかわんねーと
思うけど





こうやってみると
本当に女の子なんだ...









ばーか

きんきん

おー

ガクガク

おー



ごめん
冗談だってば
怒らないでよ

雰囲気壊す事
言うなよ



おー

おー



キキキキ

ムシ



今は私が
パートナー
なんだし

次が私がして
あげるよ



おー

杏子...

どきどき

おー

おー



かあああ...

たやぶ...

だってこれ♡

とろけてる♡

ぬちゅ〜っ



私がそう
させたんだ
って思うと



むす

なにが...?

うわ
なんかこれ
嬉しいな



へるん♡



んん

んふ

声出ないけど
気持ちよく
ないのかな?



嬉しいなとって

ちよっと
得意げ



ホッ!!



!!

!!



ふ〜ん
ドキ
ドキ

ドキ
ドキ





本当にいいのか？
初めてなんだろう？



何ポーっとしてんのさ



ほら早く

ニニ

ちゅちゅ

いまさら何いってんのさ

ニニ

ちゅちゅ

ちゅちゅ



ニニ

ニニ

ニニ



ニニ

ちゅちゅ

ブルブル



ニニ

ニニ

ニニ

ニニ







恋って
よくわかんねー
けどさ

あんたと
一緒にいるのは
楽しい気がするんだ

さやか



えっ、
寝ちゃったの？

一緒にゲーセン
いく……



すか
すか

私ってこの子と
エッチし
ちゃったんだあ
せろし



ニ
ユル



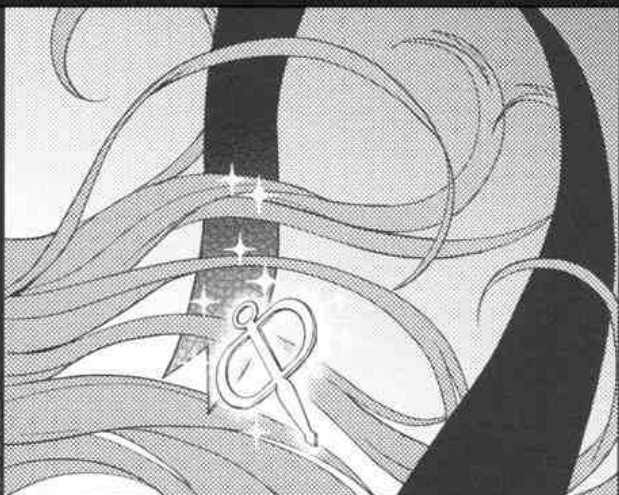
さやかちゃんが
ほどいて
あげよう

つか
寝るときまで
ホニテは
ないっしょ



なんか……
子供っぽい
顔してるよな！

意外と
年下だったり
して？



さやかちゃんから？



鹿目さん 美樹さんから電話だよ!!



ほむらちゃんと二人でさやかちゃんを探してたんだよ!

さやかちゃん! 大丈夫...なの?

あれ? まどかも一緒なんだ

えくそうなの? 今から二人で見滝原駅まで来てよ



あーもしもし

あくあくほむら私ねく今見滝原駅にいるんだ



急ごう ほむらちゃん! さやかちゃん何か様子がへんだよ

え... そうだった?



見せたいものがあるから



さやかちゃんってちよつと意地っ張りだから...

私じゃなくってほむらちゃんに電話したのはソウルジェムの事で気になることがあるんじゃないのかな それに声に元気がなかったかな



なんだか元気がうだったね



なら
鹿目さんは
家に帰って

どうして!?



鹿目さんの目の前で美樹さんが
魔女になったらどうする?

きつと…悲しみ傷つく
戦うことだって出来ないだろう

だって…

あんな気持ち
鹿目さんに
させたくない

美樹さんの生む魔女の
戦闘データが無いから
私だけじゃ苦戦するかも
しれないけど…



何を言っているの私は!!
美樹さんが魔女になるとは
決まっていけないのに!!

でもいつも
樂觀的展望は
否定されてきて…

どうしよう…



ほむらちゃん

さやかちゃんは
親友なの

私は駅に行くよ

親友…
…そうだね

鹿目さんなら
美樹さんの魔女化を
止めることができ
るのかも…

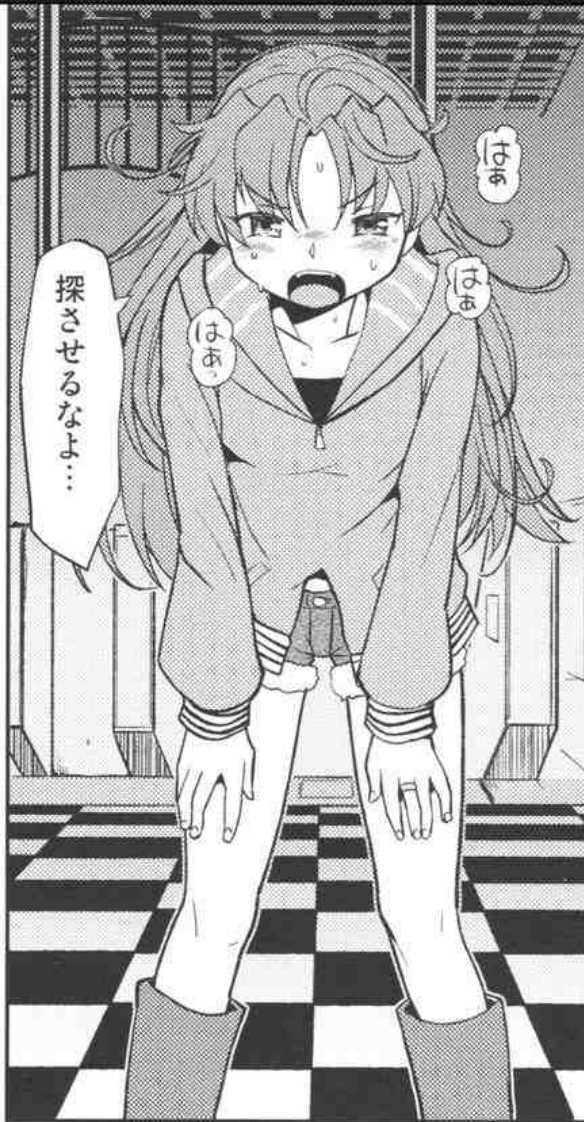


鹿目さん
何が起きても
必ず自分の身を
守る事を優先して
決して感情に
流されないで

うん…?
うん

鹿目さんを
守るのが私





杏子
変なことにつきあ
ごめん。もう立ち直ったか
私のことは
忘れてください
さやか

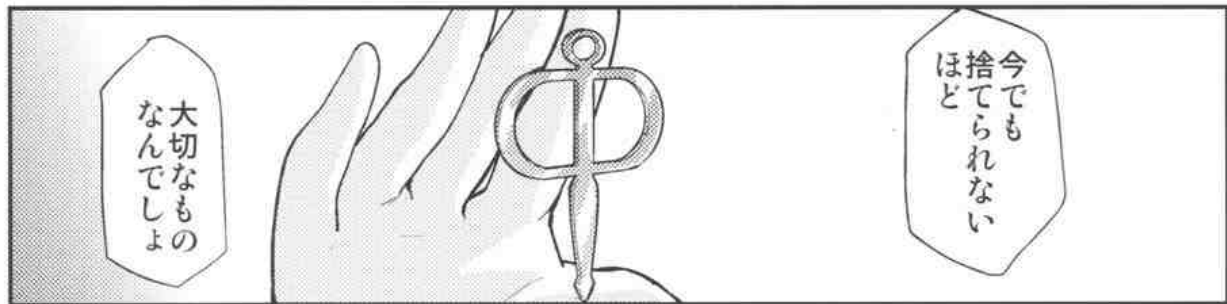




ああ…
これ
勝手に持ち出して
ごめん



電車に乗って誰にも
迷惑かけない遠くに
行こうと思っただけ
今の私にしか出来ない事
思いついたから
計画変更ってわけ



大切なもの
なんでしょ

今でも
捨てられない
ほど



これが遺書なんだと
思っただ



これだけは
捨てられなかった



親父らが
死んだとき
こんなものしか
残ってなくて





やっぱり：
そうだよ

杏子も家族のこと
大切に思っていて
ずっと一緒に
いたかったんだね

私たちの祈りは
簡単に
捨てられる
わけないし…

捨てちゃ
いけないんだ



私ね

恭介のことも
好き
恭介の音楽も



恭介の手を治したこと
間違っただけだったって
ちやんと思えるんだ

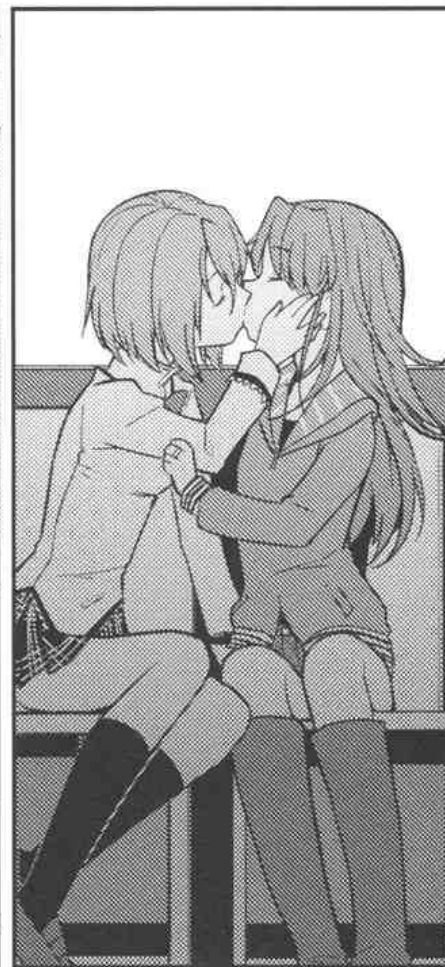
失恋はしちゃったけど

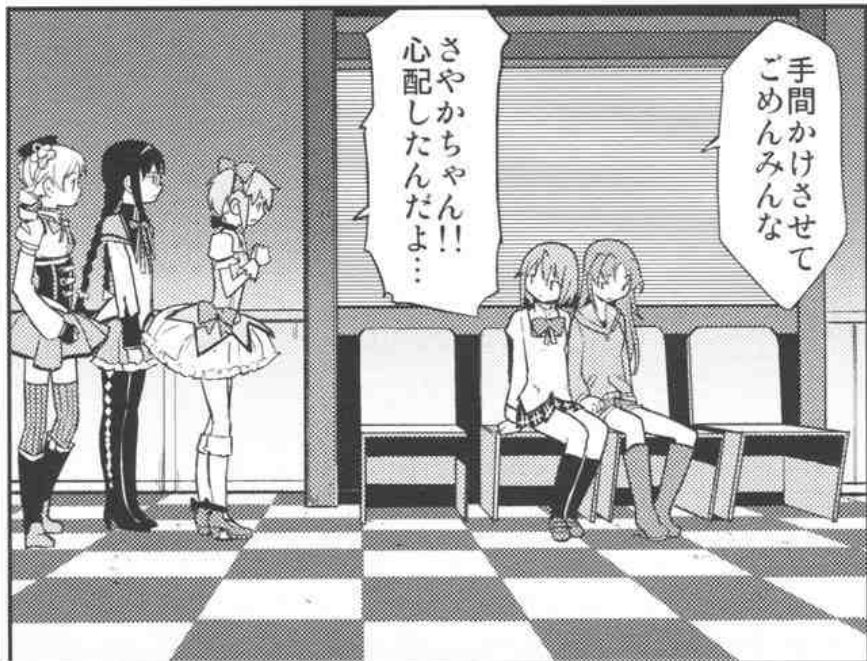
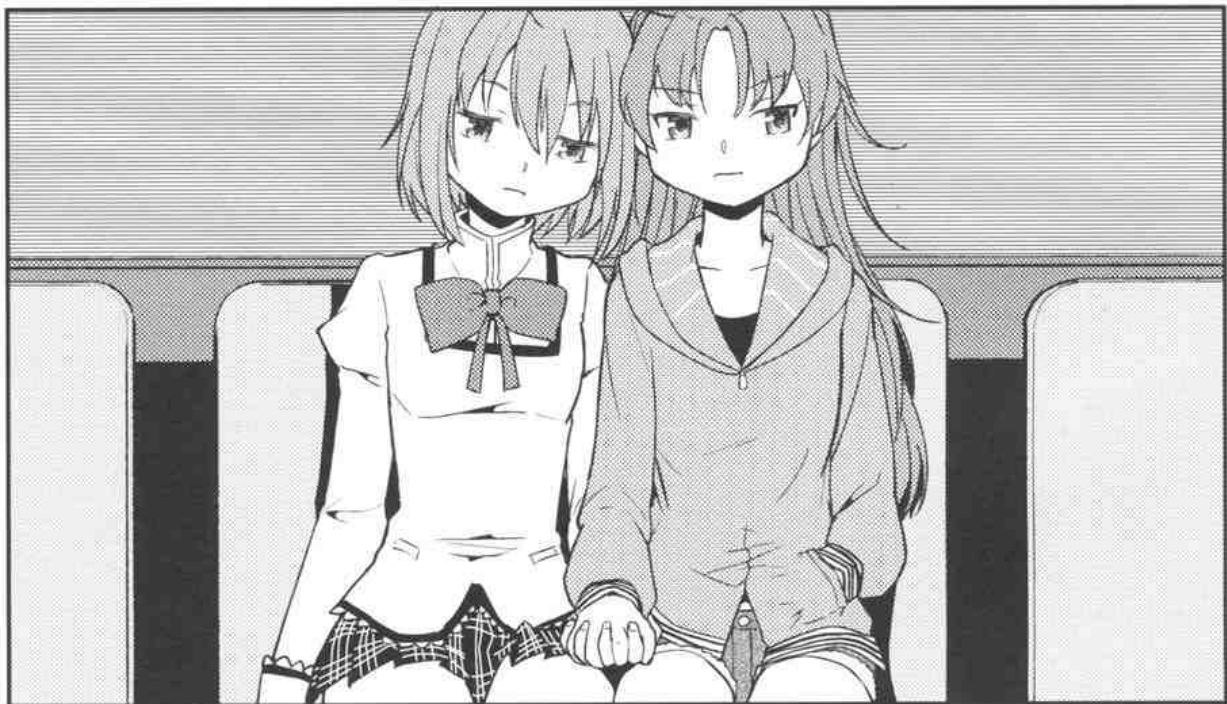
何が大切か
忘れかけてたけど

杏子がいたから
思い出すことが
できたよ

ありがとう
杏子









もうすぐここから
魔女が生まれるよ

これが
穢れを限界まで
溜め込んだ
ソウルジエム



おい…
さやかか？

美樹さん…
あなた…

さやか
ちゃん…？



しかし意外だな
この状態で呪いを
生まないとは
祈りとは別の
執念が
そうさせている
のかい？

見ての通りさ
まもなくさやかの
ソウルジエムは
消滅し
グリーフシードに
変わる…
魔女が
生まれるんだよ



最後にそれを
伝えたくて
みんなを呼んだの

ほむらの
言っただことは
本当…信じてあげて…
私が証明になるよ



ばか!!
グリーフシード
使え



どういう…
こと…なの？
キュウベえ!?



さやか!!

ごめん
これだけ
もらって
おく

杏子...

まぎれもなく
あなたは

恋を教えて
くれるんじゃないや
なかつたのかよ!!

私を救ってくれた

正義の味方だよ



何故いつも…

私を

置いていくんだ





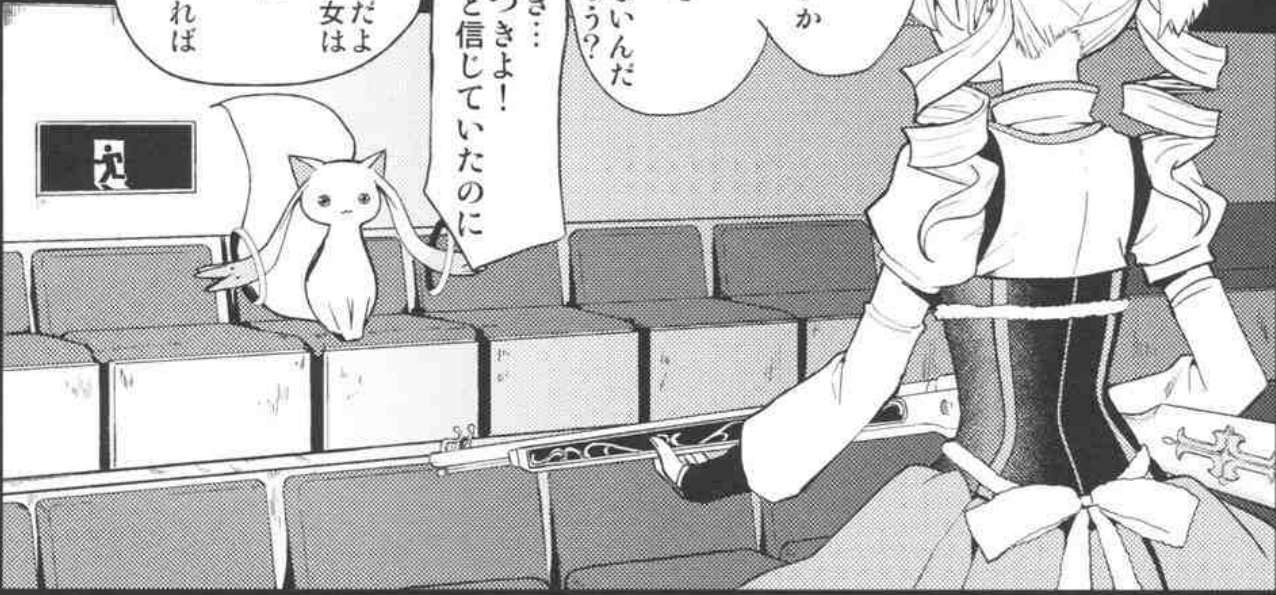
キュウベえ…
どうして…？なの
魔法少女から
魔法少女が生まれるなんて
言わなかったじゃない！

そんなにソウルジェムの真実を
知りたかったのかい？
知らないほうが同類殺しをする
負い目を負わなくていいじゃないか
キミたちはそういうことを
気にするんだろう？

現に今 マミのソウルジェムは
魔力の消費ではなく絶望によって
穢れを溜め込んでいる
ソウルジェムの真実に耐えられないんだ
知らなかったほうがよかったらどう？

友達だと
思ってたのに
嘘吐き…
うそつきよ！
ずっと信じていたのに

ボクはマミを魔法女に
させようとしたことは無いはずだよ
これまでに魔法女を生んだ魔法少女は
ボク達によってではなく
自身から生まれた絶望に
よって自ら魔法女になったんだ
絶望せず定期的に魔法女を狩り
ソウルジェムを浄化してさえいれば
魔法少女は不死の存在だ
何が問題があるかい？
キミもその恩恵に
あずかったじゃないか



たとえボクが
真実を
話したとして

マミは
信じたかな？





撃ったから…

ママさんは
私が撃って…

さやかちゃん
杏子ちゃん
死んじゃった…!

やだあ…

こんなやつ!!



だって
ママさんのソウルジエム
さやかちゃんるとき
みたいに真っ黒で

あのままじゃ
魔女に…って

魔女にしちや
いけないから

杏子ちゃんだって
そうだった…
だからママさんは

私も魔女に
なっちゃうんだ

だったら
死な…なきや



でも死ななきや

こわい



こわいよ…

自分を撃つなんて



ほむらちゃんが
こっちに来る









どうして私の為にそこまで…



だって…友達…だから…助けるのって…おかしいんじゃないでしょ



友達？

「転校生がまだかを見る目なんか普通じゃない」

さやかちゃんがいってこと間違ってたっておもえないけど…



ワルブルギスの夜の怖さ
魔法少女のヒミツ
キュウベえの目的
宇宙のエントロピーの事
別の世界でも私とほむらちゃんは
出会っていて

私が死んじゃったから
契約して
未来を変えるために
同じ時間をやり直して
いるんだって

別の世界の
私の知らない
私の存在

そのことが
夢物語
みたいだった

そっか…私
死んだことが
あるんだ…



ほむらちゃん
大丈夫だよ

夢物語を
信じてみよう



ごめんね…！
やっぱりこんな話

信じて
もらえなくて
もいいの



眠っている間でも
ソウルジェムって
濁るんだ
怖い夢でも
みてるのかな…



あれ？
鹿目さんの
ソウルジェム
さつきより
濁ってる？

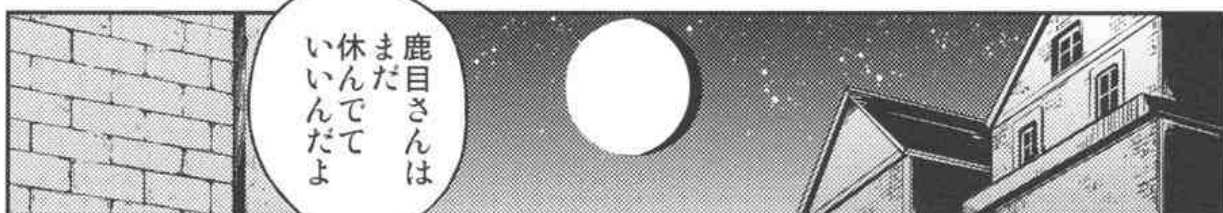


よかったか？
眠ってくれて



なんだか…
こんなことばかり
詳しくなってる
私…

なのに
鹿目さんの時間は
楽しいばかりじゃ
なくなってきた…



鹿目さんは
まだ
休んでて
いいんだよ



魔女はもともと
魔法少女でしょ
きつとみんな
魔女になんて
なりたくなかった
はずだから…
とめなきや

さやかちゃんも
そうだった



鹿目さん…
だけど…

でも一人でなんて
危ないよ
私にも戦わせて



この魔女は倒し方
知ってるから一人でも…



ワルブルギスの夜は絶対にとめなきやいけないでしょ
だからね…それまでにほむらちゃんと二人で戦うことに慣れておきたいの

おねがい…

今はもうワルブルギスの夜をとめるのが…私が生き残った意味でもあるから



時間をとめて魔女に接近
鹿目さんが魔女の弱点を攻撃するの!!

なんか運動会っぽい…



うん…わかった
じゃ…じゃあ…作戦を伝えるね

うん



鹿目さん行くよ!!



いいよほむらちゃん!!



だけどほむらちゃんと
繋がってるから
安心感はあるかな

ほむら

わあ



だけどさ
この格好…ちよつと
恥ずかしいかも…

停止時間の共有
機動性：鹿目さんの弓の
使用を考えたらこんな
格好しか思いつかなくて



ラッパ
ラッパ



二人で
倒せちゃったね



ででん

でえとお!?



コンビ技を
極めるには
もつとお互いを
知らないしね!



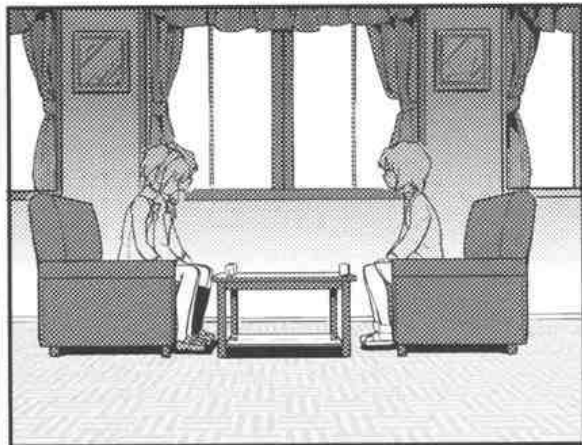
デード
だよ

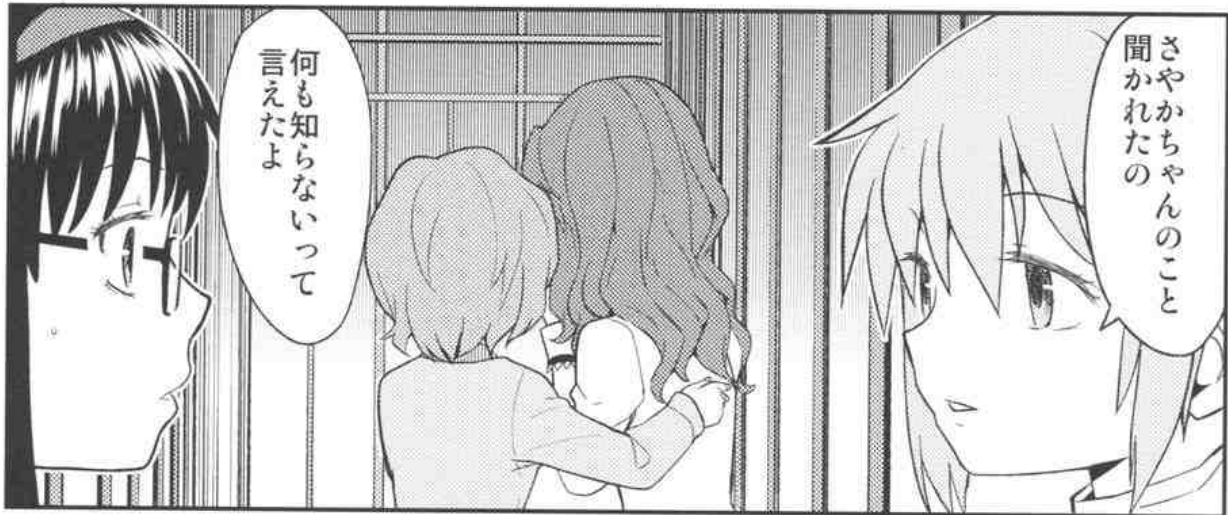


ほむらちゃん
明日の放課後
魔女も使い魔も
出なかつたら
お出かけしようよ

出かけるって
どこへ?

うーん
どこでも
カフェでも
映画でも







昨日綺麗にしたのに
もう濁ってる
私が
弱い子だから…



ほむらちゃんに
迷惑かけてる





あー…たしかに

ほら巴さんって—
でしょ

怖い

行方不明の
女の子が
一緒に

受験—配慮

そろそろ発表
するんじゃない

うちの親—
の仕事で—

私なの

私が…
ママさんを

強くて
やさしくて
かっこよくて
尊敬できる
人だったのに

でも
騙されて
裏切られたの

ちがうの
ママさんは
みんなを守るために
戦ってたんだよ

そんなふう
にやめてよ



二年の女子も
行方不明で

死ん…



わっ

私ほむらちゃんに
キスされてる

わわ

両耳をふさがれて
外の音が聞こえない

あーん
あーん
あーん
あーん
あーん
あーん
あーん
あーん
あーん
あーん



口の中の音だけが…
頭に響いて…

舌をどこに
おいたらいいの

息の音

心臓の音

ふーっ

どきどき

あーん

あーん

どきどき

もっ

あーん







さあ

そうだったっけ？
でも先にキスしたのは
ほむらちゃんだし

あっあの
キスしたこと
怒ってるんだよね？

違うのあれは
本当に
ごめんなさい



ふええ

えっ!?
でも先にへロって
してきたのは
鹿目さんの方じゃ…

私とエツチな
ことしたいでしょ
じゃなきゃ
あんなキスしない

それより
ほむらちゃんの
したいことしよ



ほむらちゃんの
家で話しよ

キイ



えっと
何か飲み物でも…

いらない

……



一番目の私とは
恋人だったのかな？

いまの私は
ほむらちゃんの
友達でも

やっぱり
一番目の私？

ほむらちゃんは何番目の
私が好きだった？



キス上手だよね
びっくりしちやった

いつ？
いつの私と
練習したの？

それとも
全然別の人？

私は初めて
だったのに

簡単にキス
できるんだね





私もほむらちゃんが
好きだよ

不安なんだ

私のそばから
いなくなるんじゃ
ないかって

ワルブルギスの夜を
倒しちゃったら
ほむらちゃんは
私のこと守る理由が
無くなるじゃないかって…



ほむらちゃんが
いなくなったら
私…
生きる理由が
なくなっちゃうよ



仲直りのキス



ごめん…

でもさ
ああいうキスしたのに
変な言い訳するのは
よくないよ



だから



体のラインが
とても綺麗で…

ときどきするよ☆

いじゃん!

あ



ほむらちゃんの
魔法少女衣装好きだな

地味：
じゃない？

そんなことないよ！
ほむらちゃんに
凄く似合ってる
かつこいもん



ご褒美

ちゅっ

ちゅ

うん



うん

うん

うん



ときどき

ほむらちゃん
エッチなポーズ
してみて

どっ：
どんな？

足広げてみて

こ…こ…う？

うふっ
いいね

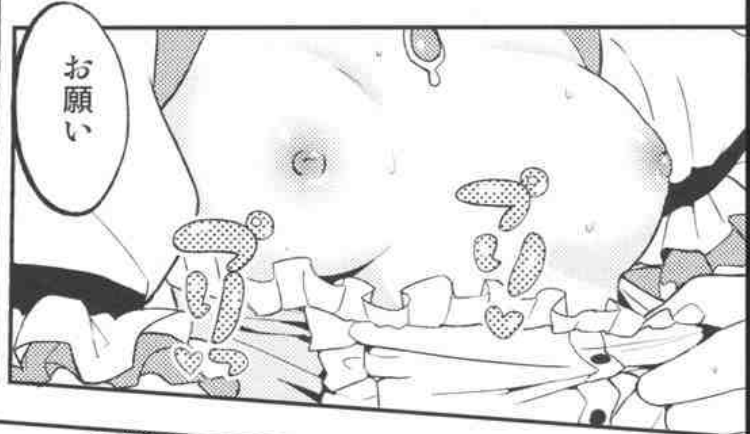
ほんと？
嬉しい…かも

いじゃん!



なんだか…
切なくなつて
きちゃつた

ほむらちゃんも
私の吸つて



お願い



あっ…
ほむらちゃん

上手だよ

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

えらいね

あほ

あほ

んんん

ときどき



秘密の場所に
キスしてもいい?
鹿目さん

うん…

ほむらちゃん
もっといっぱい
キスして

あほ

あほ



ぶりっこ
みたいじゃ
ない？

鹿目さんの衣装って
ピンクと白で
ふわふわして

本当に女の子な
感じだよな

ショーツまで
可愛いだなんて…
隙が無い…

ううん
可愛い

えへへ
いっぱい
ほめられてる♡



鹿目さんを
気持ちよく
するからね

たくさんキスするね

恋にい

R





私が鹿目さんの
そんな顔みなの
初めてなんだよ





へ？



ドキ、ドキ、
わたしも
ほむらちゃんの
初めてが欲しいな



……
ティッシュ



今まで私のために
がんばってくれて
ありがとう

でもそれも
今回で終わり

ワルブルギスの夜を倒して
ほむらちゃん
新しい時間をすごすの
必ずだよ



ええ

もらって……

私の初めて



私はほむらちゃん
みたくに
強くないから
沢山迷惑かけちゃう
かもしれないけど

私のそばにいて
折れそうになる
私を
支えてほしいの



ドキ、ドキ、ドキ、ドキ、ドキ、ドキ

あ

かぶ。

足：綺麗

そんなことな...い...

あひび

れろー

んたの



ほむらちゃんの香り...好きだな

そ...そう？

うん...キスするね

かなめちゃん！

んんん





ほむらちゃん
きれい



私の初めてを
あげる



いつか私の初めても
もらって欲しいな
って…

そうだね
私のこと『まどか』って
呼んでくれるように
なったら…



そんなこと
……ないよ



あの夢の続きが
みれるかな？

そうしたら



何ほら

こ……っ



もう友達
じゃないでしょ！

ぶんすか！

ひやい！
ごめんなさい



特に理由のない

なんふ♡
なんとなく
聞きたいだけ

女の心の質問



むっ

一番大切に
大好きな
友達……だよ



ほむらちゃん
私のこと
どう思ってる

え？
どうしたの
急に……



ガチガチ

私
幸せだよ

鹿目さんに
大切なものをあげて
恋人になれて



正解
よく
言え
ました



なんて
声出して
るの
ほむらちゃん

ひええ

まじゆ



モロ

モロ

こここつ
……
恋人



……

はあ……

んあ……

……
んん
……
♡



私が……
いつか魔女になっても

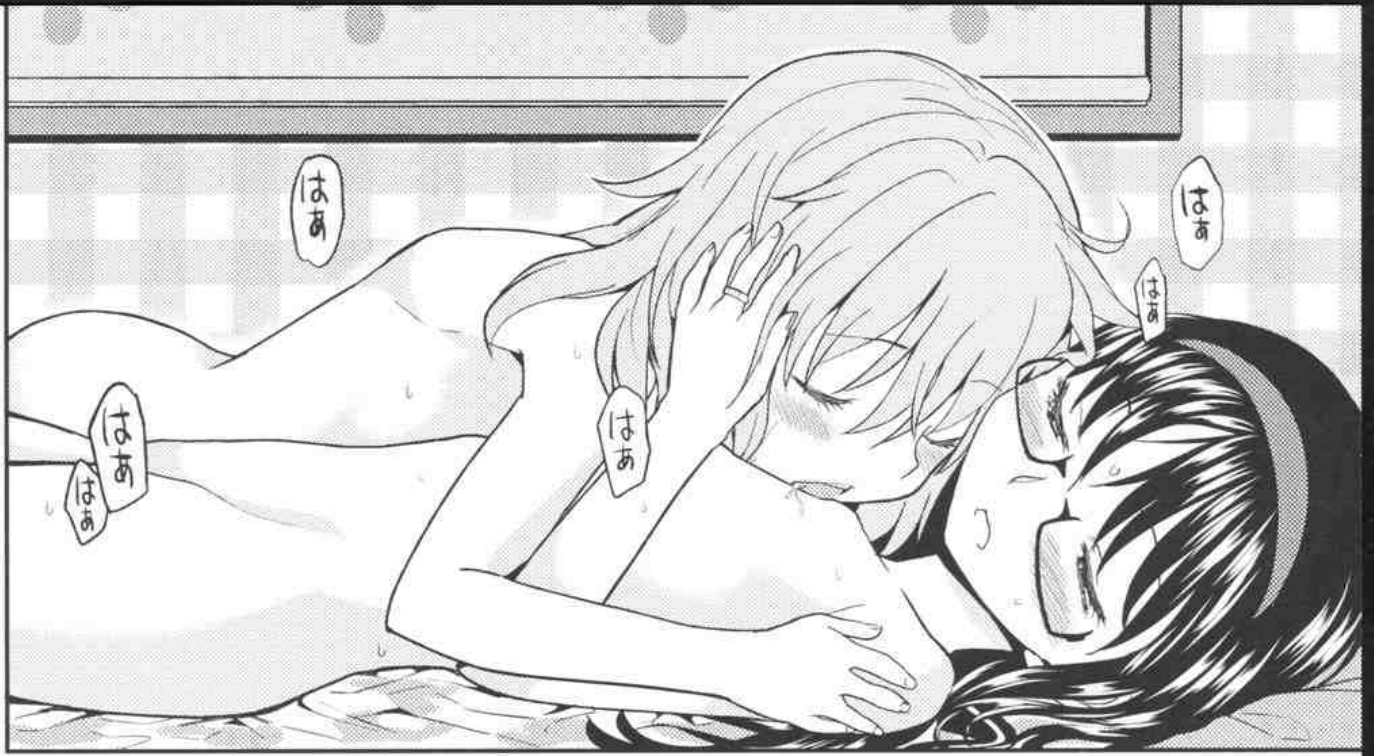
きつと
素敵な夢をみられるわ



『希望と絶望は
差し引きゼロ』

佐倉さんの
言っていた言葉
悔しいけど
正しいんだと思う

でも……私はもう
どうなっても平気



ただよ
さやかちゃん
責めたりしない

きつと祝福して
くれるよ……
ね？

いいのかな？
私だけが幸せて……

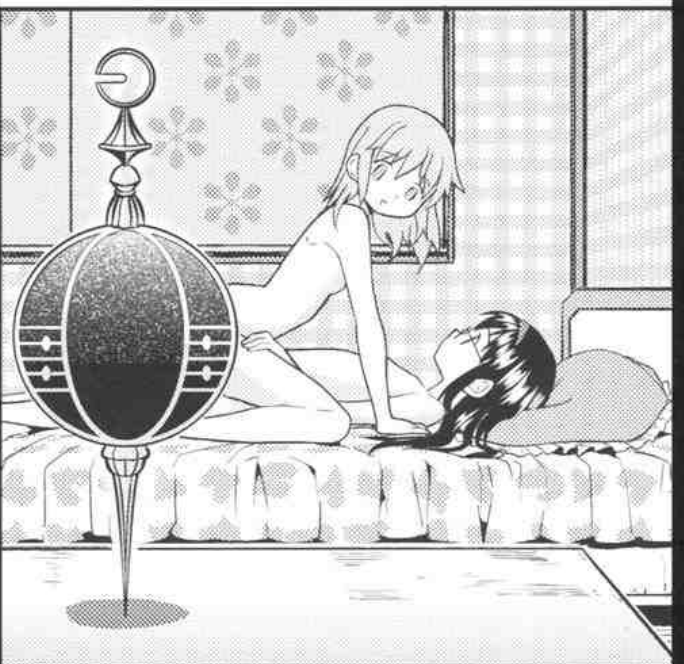
さやかちゃん
私ほむらちゃんの
恋人になったんだよ



さやかちゃんを
魔女にしちゃったから
マミさんも
杏子ちゃんも
死んじゃった？

私が魔法少女じゃなかったら
さやかちゃんは
契約してなかったのかな？

全部
私……
悪いのかな







私たちも…
もう
おしまいだね

グリーン
シードは？

ううん

そう



ねえ…私たち
このまま二人で
怪物になって…

こんな世界
何もかもメチャクチャに
しちやおつか？

あ、は、は

嫌なことも悲しいことも
全部無かったことに
しちやえるぐらい



ほむらちゃん
私…何も
できなかつたね

ワルブルギスの夜も
倒せない

さやかちゃん
マミさん
杏子ちゃん
街のみんな…
誰も救えない



壊して
壊して
壊しまくってさ…

鹿目さんと
一緒に魔女に
なれるなら
なんだかそれも
幸せなことだつて
思えるから…



ほむらちゃんまで
絶望に身を
任せようとしてる
私が弱いから…

魔法少女になつちや
いけない…んだ

私が
ダメだから…

だけど
ほむらちゃんは違う

さっきのは嘘…
一個だけ取つて
おいたんだ



無責任だよ
ね 酷いよね...

よかった...

何もかも
ほむらちゃんに
託して

私はすべて
忘れてしまおう



キユウベえに
騙される前のバカな私を
助けてあげてくれないかな?

私よりずっと
強いから...
お願いするよ

うん...
約束するわ!
絶対にあなたを
救ってみせる

何度繰り返す
ことになっても
必ずあなたを
守ってみせる!



私...魔女には
なりたくない

もう一つ...
頼んでいい...?

嫌なことも
悲しいことも
あったけど

守りたいものだって
たくさん
この世界にはあったから



恋人を
撃たせるなんて

きつとほむらちゃん
は
忘れることが
できない...のに



嬉しい…

な



やっと名前で呼んでくれたね



ほむらちゃん



死んじやっても怖くないよ

ほむらちゃんが名前で呼んでくれたから…

きっと……素敵な夢の続きが……みれるよ



いつも
いつも…

まどかにばかり

つらい
思いをさせて

ごめんなさい

次は…きつと
うまくやる…わ

まどかとの約束
守るから…







ごめん



ヒント!!

チーズ
なのです

フルーツタルトが
いいなあ

うふ♡
当たてみて

今日のケーキ何?



本当に...

笑顔で
いてくれて

楽しんでいて

まどかが
幸せで



よかつたあ

本当に

夢なんて
儂いものじゃ
ないけれど

神様にとって
人の一生なんて

ほんの一瞬の
夢のようなもの
かじら？

人間のあなたが
一生を終えて
神様が目覚めたとき

寂しくないように
ずっとそばにいますから

楽しく素敵な
夢をみてね

愛しているわ
まどか

終

あとがき

何でかやたらと続いてしまっている過酷少女絵録シリーズ。まさか3作も出すと思っていなかったで(出すとしても違うタイトルにするおもって)、タイトルのナンバーをどうするか全然考えていなかったのです。前作に「続〜」とつけてしまったので、三作目に突然『過酷少女絵録3』とナンバリングされても、タイトルに統一感がないかな?とおもいまして難しい方の漢数字(という表現であっているのか?)の“参”となぞらえて『〜参』といたしました。内容的にも明るい漫画ではないですわね…表紙明るいくせにね…。原作での三作目を舞台にした時点で明るい楽しいお話は無理なことでした。原作三作目を舞台にしつつ、この同人誌的には『ほむほむ、幻の周回プレイ(R-18)』ラストではむらが転校してきたところの周回でもあります。

今回もっとも苦労した部分はさやかと杏子のエロシーンでして、この二人のセックスがなかなか想像できなくて、どっちがリードするのかや、性知識はどれほどのものなのかと難しかったです。中二くらいだと、男女のエロについては知識があっても女同士となると自分から調べない限り知ることってほとんどないんじゃないかな〜とおもったので、さやかにはへたれてもらいました。

そんななかで、さやかのマントを全部取らずに襟部分だけ残したのが、自分でもよい感じでお気に入りです。今回の本では魔法少女コスでエッチするのが目的であったのでさやかのコスチュームをどこまで脱がすべきか悩みました。なんせさやかの衣装はデフォルトでエロい衣装なので……マントを全部取ったら無防備すぎて…。

反省点は、杏子の過去があまりかけなかったところでしょうか。ママさんと何かあったのかなかったのかなんなのか……。面白い話になりそうだったらいつか描くかもしれません。

今回ママさんはあまり登場してないですが、25~26Pで「Look!」「watch out!」って言うてる妖精は『ゼルダの伝説時のオカリナ』というゲームにでてくるキャラでカーソルです。声優さんがママさんなので……たったそれだけのコネタ……。

次回作はまだ何も考えておりません。今作が暗い内容だったから次は明るい話を描けたらいいな〜とおもいながら、特に内容はきまっておられません。

次、何か描けたらそのときはよろしくお願いたします。

ありがとうございました。

あやね

奥付

■発行年月日■
2014年8月17日

■サークル名■
ネダオレ

■連絡先■
URL:<http://homepage3.nifty.com/nedaore/>
MAIL:nedaore@gmail.com
pixivID:2911523

■印刷会社■
栄光印刷

無断転載・無断複製禁止



悪魔世界に致命的なバグが発生した為
人間まどか生存中に神様起床したらしい



そのころ人間界のまどほむ